

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第 1 面）

産業廃棄物処理計画書	
令和3年 6月 15日	
愛知県知事 殿	
提出者 〒475-0033 住所 愛知県半田市日東町4番29 氏名 株式会社アイシン 半田工場 工場長 白井 康昭 電話番号 0569-24-6740	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社アイシン 半田工場
事業場の所在地	愛知県半田市日東町4番29
計画期間	令和3年4月1日 ～ 令和4年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	31 輸送用機械器具製造業
②事業の規模	製造品出荷額：2,100億円
③従業員数	2,600名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	汚泥(社外処理):①中間処理業者へ処理委託→焼却→残渣は路盤材として再資源化 ②中間処理業者へ処理委託→混錬→セメント原料として再資源化 汚泥(社内処理):脱水→焼却(西尾工場)→飛灰は路盤材、 燃え殻はセメント原料として再資源化 廃油(社外処理):中間処理業者へ処理委託→油水分離→燃料として再資源化 廃油(社内処理):濃縮→焼却(西尾工場)→飛灰は路盤材、 燃え殻はセメント原料として再資源化 廃プラスチック類:①中間処理業者へ処理委託→破碎圧縮→燃料として再資源化 ②中間処理業者へ処理委託→焼却→残渣は路盤材として再資源化 金属くず:中間処理業者へ処理委託→破碎選別圧縮→原料として再資源化 ガラス・陶磁器くず:中間処理業者へ処理委託→破碎選別→原料として再資源化 木くず:中間処理業者へ処理委託→破碎→燃料として再資源化

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

半田工場工場長
(半田地区
環境管理統括者)

環境管理部署
(産業廃棄物処理責任者)
(特別管理産業廃棄物
管理責任者)
(マニフェスト管理)

会議体

半田地区環境委員会

地区環境分科会

半田工場

各部署環境管理責任者
各部署環境管理推進者

走行安全
品質管理部

各部署環境管理責任者
各部署環境管理推進者

半田電子工場

各部署環境管理責任者
各部署環境管理推進者

電子第一
品質管理部

各部署環境管理責任者
各部署環境管理推進者

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	排 出 量	別紙の通り	
	(これまでに実施した取組) 排水汚泥の脱水と社内焼却（西尾工場）による減量化。 軟質廃プラスチックの粉碎により燃料として売却、再利用化している。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	排 出 量	別紙の通り	
	(今後実施する予定の取組) 前年同様の取組を継続。 廃プラスチックの細分化による有価化の推進。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 硬質プラスチック、軟質プラスチック、金属付プラスチック、ガラス 木くず等分類し保管している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 前年同様分別の徹底を継続する。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	別紙の通り	
	(これまでに実施した取組) ・軟質プラスチックを粉砕し、再利用している。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	別紙の通り	
	(今後実施する予定の取組) ・軟質プラスチックを粉砕し、再利用している。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	別紙の通り	
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	別紙の通り	
	(これまでに実施した取組) 排水処理場汚泥を脱水設備にて減量し、工場廃液を濃縮設備にて濃縮減量するとともに脱水汚泥、濃縮廃液を社内焼却炉（西尾工場）にて焼却処理し減量化している。また、軟質プラスチックを粉砕し、燃料として売却、再利用化している。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	別紙の通り	
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	別紙の通り	
	(今後実施する予定の取組) 前年同様の取組を継続する。 また、排水処理場において凝集工程の薬注量適正管理による汚泥増加を防ぐ。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	別紙の通り	
	（これまでに実施した取組） ・自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分は無し。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	別紙の通り	
	（今後実施する予定の取組） ・自ら行う埋立処分又は海洋投入処分の予定無し。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	全処理委託量	別紙の通り	
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙の通り	
	再生利用業者への処理委託量	別紙の通り	
	認定熱回収業者への処理委託量	別紙の通り	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙の通り	
	（これまでに実施した取組） 優良認定処理業者への処理委託推進。 マニフェスト管理の徹底。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	全処理委託量	別紙の通り	
	優良認定処理業者への 処理委託量	別紙の通り	
	再生利用業者への 処理委託量	別紙の通り	
	認定熱回収業者への 処理委託量	別紙の通り	
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	別紙の通り	
	(今後実施する予定の取組) 前年同様の取組を継続。 処理委託業者への現地確認の実施。		
	※事務処理欄		

別紙

単位：t

産業廃棄物の種類		汚泥	廃油	廃プラスチック類	金属くず	金属くず、 ガラスくず及び 陶磁器くず	汚泥、 廃プラスチック類 金属くず	ガラスくず、 コンクリートくず 及び陶磁器くず	木くず	合計
＜産業廃棄物の排出の抑制に関する事項＞										
現状	(排出量)	2,246.98	257.48	244.70	0.87	0.22	0.15	0.49	3.74	2,754.63
計画		2,224.51	254.91	242.25	0.86	0.22	0.15	0.49	3.70	2,727.09
＜自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項＞										
現状	(自ら再生利用を行った産業廃棄物の量)	0	0	27.90	0	0	0	0	0	27.90
計画	(自ら再生利用を行う産業廃棄物の量)	0	0	27.62	0	0	0	0	0	27.62
＜自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項＞										
現状	(自ら熱回収を行った産業廃棄物の量)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計画	(自ら熱回収を行う産業廃棄物の量)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
現状	(自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量)	2,220.20	237.73	0	0	0	0	0	0	2,457.93
計画	(自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量)	2,198.00	235.35	0	0	0	0	0	0	2,433.35
＜自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に 関する事項＞										
現状	(自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計画	(自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
＜産業廃棄物の処理の委託に関する事項＞										
現状	(全処理委託量)	26.78	19.75	216.80	0.87	0.22	0.15	0.49	3.74	268.80
計画		26.51	19.55	214.63	0.86	0.22	0.15	0.49	3.70	266.11
現状	(優良認定処理業者への処理委託量)	14.54	19.48	24.51	0	0.22	0.15	0	3.74	62.64
計画		14.39	19.29	24.26	0	0.22	0.15	0	3.70	62.01
現状	(再生利用業者への処理委託量)	17.89	9.06	192.29	0.87	0.22	0.15	0	3.74	224.22
計画		17.71	8.97	190.37	0.87	0.22	0.15	0	3.70	221.99
現状	(認定熱回収業者への処理委託量)	0	10.69	0.60	0	0	0	0	0	11.29
計画		0	10.58	0.59	0	0	0	0	0	11.17
現状	(認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量)	8.89	0	23.91	0	0	0	0	0	32.80
計画		8.80	0	23.67	0	0	0	0	0	32.47